بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 14 巻

サアド・ブン・ムアーズ

その死に玉座が震えたアウス族の長 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

وَلَمَّا رَءَا ٱلْمُؤْمِنُونَ ٱلْأَحْزَابَ قَالُوا۟ هَٰذَا مَا وَعَدَنَا ٱللَّهُ وَرَسُولُهُۥ وَصَدَقَ ٱللَّهُ وَرَسُولُهُۥ ۖ وَمَا زَادَهُمْ إِلَّآ إِيمَٰنًا وَتَسْلِيمًا ﴿٢٢﴾

「信者たちは，部族連合の軍勢を見た時言った。「これはアッラーとかれの使徒が，わたしたちに約束されたものである。アッラーとかれの使徒は，真実を話された。」それは，かれらの信心と服従，帰依の念を，嫌が上にも深めた。」

部族連合章 33:22

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

試練のときに信者の信仰を増されるアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけその死に慈悲深き御方の玉座が震えたアウス族の長、サアド・ブン・ムアーズ رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 14 巻は、サアド・ブン・ムアーズ رضى الله عنه の生涯を語ります。ムスアブ・ブン・ウマイルを通してイスラームに入り、部族全体をイスラームに導いたアブドゥルアシュハル家の長。バドル、ウフド、塹壕の戦いで忠実に立ち、公正に裁き、若くして殉教者として世を去った教友です。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは***夕暮れのマディーナ***で、手前には掘られたばかりの***塹壕（ハンダク）***と、砂の上の***折れた矢***があります。塹壕の戦いでサアド・ブン・ムアーズを射た矢を思い起こさせます。

中央には、日干しれんがとナツメヤシの葉でできた***素朴なモスク***のそばに、ランプに照らされた***白いテント***が立っています。アッラーの使徒 ﷺ は、近くから見舞えるようにとモスクにサアドのためのテントを張られました（『サヒーフ・ブハーリー』4122）。

テントへと降り注ぐ***空からの金色の光***は、サアドの死の誉れを象徴しています。慈悲深き御方の玉座が震え（『サヒーフ・ブハーリー』3803）、七万の天使が葬儀に立ち会いました。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 13 巻と同じデザインです。

目次

サアド・ブン・ムアーズ 6
1. サアド・ブン・ムアーズとは誰か 7
2. 手には槍、開かれた心 8
3. 一日でイスラームに入った部族 9
4. アブー・ジャフルの前で毅然と 10
5. バドル – 「あなたとともに海に入りましょう」 12
6. 塹壕の戦い – 信仰を強めた試練 13
7. 矢とサアドの祈り 15
8. クライザ族についての裁定 17
9. 「あなたがたの長のために立ちなさい」 20
10. アッラーの使徒ﷺの名誉の守り手 21
11. 慈悲深き御方の玉座が震えた 22
12. 天使が担いだ棺 24
13. 楽園でのサアドのハンカチ 26
14. サアド・ブン・ムアーズの人柄 27
15. サアドの物語の典拠 28
16. サアドの物語に登場する人物 29
17. サアドの物語に登場する場所 30
18. サアドの生涯の年表 31
19. サアドについてのよくある質問 32
20. 教訓と結び 34
参考文献 35
支援と寄付 36

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

サアド・ブン・ムアーズ

ヒジュラ暦5年、アンサールの一人の教友がマディーナで亡くなったとき、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。*「サアド・ブン・ムアーズの死に、慈悲深き御方の玉座が震えた」*（『サヒーフ・ブハーリー』3803）。その教友こそ、マディーナの*アウス族*の長、*サアド・ブン・ムアーズ* رضي الله عنه です。

彼はムスアブ・ブン・ウマイルの呼びかけによってイスラームに入り、彼の部族アブドゥルアシュハル家の全員が同じ日にイスラームに入りました。*バドル*、*ウフド*、*塹壕*の戦いでアッラーの使徒 ﷺ とともに堅固に立ち、塹壕の戦いで矢を受け、盟約を裏切ったクライザ族について裁定を下し、その後、およそ三十七歳で殉教しました。イスラームに入ってからわずか六年後のことでした。

この電子書籍は『*イスラームの英雄*』シリーズの第 14 巻です。カアカーアの物語とは異なり、サアド・ブン・ムアーズの物語は真正なハディースに数多く記されています。これまでの巻と同じく、すべての伝承の典拠を示し、真正なハディース集にないスィーラの伝承については正直に説明しています。

サアドの物語は、自らの指導力のすべてをアッラーとその使徒に捧げた指導者の物語です。短い間に、天がその帰還を迎えるほどの高い位に達したのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアド・ブン・ムアーズとは誰か

彼の正式な名は*サアド・ブン・ムアーズ・ブン・アン＝ヌウマーン*・アル＝アンサーリー・アル＝アシュハリーで、マディーナの*アウス族*アブドゥルアシュハル家の出身です。クンヤ（呼び名）は*アブー・アムル*。母カブシャ・ビント・ラーフィウもイスラームに入りました。

イスラーム以前から彼はアブドゥルアシュハル家の長であり、アウス族の中で尊敬される指導者でした。兄弟のアムル・ブン・ムアーズはウフドの戦いで殉教しました。

名前と称号

名前・称号	説明
サアド・ブン・ムアーズ	本名
アブー・アムル	クンヤ（呼び名）
アル＝アンサーリー・アル＝アシュハリー	アウス族アブドゥルアシュハル家の出身
サイイド・アル＝アウス	マディーナのアウス族の長
「あなたがたの長」	預言者の言葉「あなたがたの長のために立ちなさい」（『サヒーフ・ブハーリー』3804）

教訓

世の地位は、真理を支えるために用いられるとき尊いものとなります。サアドは自らの指導力を、部族をイスラームに導くために用いました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

手には槍、開かれた心

第一アカバの誓いの後、アッラーの使徒 ﷺ はクルアーンを教えるために***ムスアブ・ブン・ウマイル***をマディーナへ遣わされました（第6巻を参照）。ムスアブは、サアド・ブン・ムアーズのいとこアスアド・ブン・ズラーラの家に滞在しました。

歴史の注：ムスアブとの出会い

イブン・イスハークによれば、サアド・ブン・ムアーズは、ムスアブが自分の部族の地区でイスラームへ呼びかけていると聞いて怒りました。彼は槍を持ってムスアブとアスアド・ブン・ズラーラのもとへ来ました。ムスアブは落ち着いて言いました。「座って聞いてみませんか。気に入れば受け入れ、気に入らなければ、あなたの嫌うものをあなたから遠ざけましょう。」サアドは槍を地面に突き立てて座りました。ムスアブがイスラームを説明しクルアーンを読み聞かせると、サアドが何かを言う前に、その顔つきが変わりました。彼は身を清め、信仰を証言し、二ラクアの礼拝を捧げました。

伝承の評価： スィーラの書でよく知られていますが、イブン・イスハークによる伝承で、真正なつながった伝承経路はありません。

参照：
イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）；イブン・サアド『大列伝』。

教訓

呼びかける者の優しさは、かたくなな心を和らげることがあります。怒って来た人も、クルアーンを聞く機会を与えられれば、信仰を得て帰ることがあるのです。

一日でイスラームに入った部族

歴史の注：「あなたがたと話すことは私に禁じられている」

イスラームに入った後、サアドは自分の部族アブドゥルアシュハル家に戻り、「あなたがたの間で私の立場はどうか」と尋ねました。彼らは「あなたは私たちの長であり、最も判断に優れた方です」と答えました。サアドは言いました。*「あなたがたがアッラーとその使徒を信じるまで、あなたがたの男とも女とも話すことは私に禁じられている。」* イブン・イスハークは、その日の夕方までに、アブドゥルアシュハル家でイスラームに入らなかった男女は一人もいなかったと述べています。

伝承の評価： スィーラの書でよく知られていますが、真正なハディース集には見られません。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）；ザハビー『高貴な人々の伝記』。

この出来事は、アッラーの使徒 ﷺ のマディーナへの移住（ヒジュラ）への道を開きました。アウス族とハズラジュ族は、預言者を迎え入れ守る準備ができていたのです。

教訓

信仰ある指導者は部族全体を導きへと連れて行くことができます。長がイスラームに入ることは、率いられる人々に非常に大きな影響を与えます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アブー・ジャフルの前で毅然と

イスラーム以前、サアドはクライシュ族の有力者ウマイヤ・ブン・ハラフと友人でした。ヒジュラの後、サアドはウムラのためにマッカへ行きました。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 3950

حَدَّثَنِي أَحْمَدُ بْنُ عُثْمَانَ، حَدَّثَنَا شُرَيْحُ بْنُ مَسْلَمَةَ، حَدَّثَنَا إِبْرَاهِيمُ بْنُ يُوسُفَ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، قَالَ حَدَّثَنِي عَمْرُو بْنُ مَيْمُونٍ، أَنَّهُ سَمِعَ عَبْدَ اللَّهِ بْنَ مَسْعُودٍ ـ رضى الله عنه ـ حَدَّثَ عَنْ سَعْدِ بْنِ مُعَاذٍ، أَنَّهُ قَالَ كَانَ صَدِيقًا لأُمَيَّةَ بْنِ خَلَفٍ، وَكَانَ أُمَيَّةُ إِذَا مَرَّ بِالْمَدِينَةِ نَزَلَ عَلَى سَعْدٍ، وَكَانَ سَعْدٌ إِذَا مَرَّ بِمَكَّةَ نَزَلَ عَلَى أُمَيَّةَ، فَلَمَّا قَدِمَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم الْمَدِينَةَ انْطَلَقَ سَعْدٌ مُعْتَمِرًا، فَنَزَلَ عَلَى أُمَيَّةَ بِمَكَّةَ، فَقَالَ لأُمَيَّةَ انْظُرْ لِي سَاعَةَ خَلْوَةٍ لَعَلِّي أَنْ أَطُوفَ بِالْبَيْتِ. فَخَرَجَ بِهِ قَرِيبًا مِنْ نِصْفِ النَّهَارِ فَلَقِيَهُمَا أَبُو جَهْلٍ فَقَالَ يَا أَبَا صَفْوَانَ، مَنْ هَذَا مَعَكَ فَقَالَ هَذَا سَعْدٌ. فَقَالَ لَهُ أَبُو جَهْلٍ أَلاَ أَرَاكَ تَطُوفُ بِمَكَّةَ آمِنًا، وَقَدْ آوَيْتُمُ الصُّبَاةَ، وَزَعَمْتُمْ أَنَّكُمْ تَنْصُرُونَهُمْ وَتُعِينُونَهُمْ، أَمَا وَاللَّهِ لَوْلاَ أَنَّكَ مَعَ أَبِي صَفْوَانَ مَا رَجَعْتَ إِلَى أَهْلِكَ سَالِمًا. فَقَالَ لَهُ سَعْدٌ وَرَفَعَ صَوْتَهُ عَلَيْهِ أَمَا وَاللَّهِ لَئِنْ مَنَعْتَنِي هَذَا لأَمْنَعَنَّكَ مَا هُوَ أَشَدُّ عَلَيْكَ مِنْهُ طَرِيقُكَ عَلَى الْمَدِينَةِ. فَقَالَ لَهُ أُمَيَّةُ لاَ تَرْفَعْ صَوْتَكَ يَا سَعْدُ عَلَى أَبِي الْحَكَمِ سَيِّدِ أَهْلِ الْوَادِي. فَقَالَ سَعْدٌ دَعْنَا عَنْكَ يَا أُمَيَّةُ، فَوَاللَّهِ لَقَدْ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ إِنَّهُمْ قَاتِلُوكَ. قَالَ بِمَكَّةَ قَالَ لاَ أَدْرِي. فَفَزِعَ لِذَلِكَ أُمَيَّةُ فَزَعًا شَدِيدًا

訳：

アブドゥッラー・ブン・マスウードは、サアド・ブン・ムアーズについてこう語った。彼はウマイヤ・ブン・ハラフの友人であった。ウマイヤがマディーナを通るときはサアドのもとに泊まり、サアドがマッカを通るときはウマイヤのもとに泊まった。アッラーの使徒 ﷺ がマディーナに来られた後、サアドはウムラに出かけ、マッカでウマイヤのもとに泊まった。彼はウマイヤに言った。「聖殿を回れるよう、人の少ない時間を見つけてくれ。」ウマイヤは昼ごろ彼を連れ出したが、二人はアブー・ジャフルに出会っ

た。アブー・ジャフルは言った。「アブー・サフワーンよ、連れているのは誰か。」ウマイヤは「サアドだ」と言った。アブー・ジャフルはサアドに言った。「お前たちは背教者どもをかくまい、彼らを助け支えると言い張っているのに、お前はマッカで安全に回っているのか。アッラーにかけて、アブー・サフワーンと一緒でなければ、お前は無事に家族のもとへ帰れなかっただろう。」サアドは声を張り上げて言った。 ***「アッラーにかけて、これを私に禁じるなら、私はお前にもっとつらいことを禁じよう。マディーナを通るお前の道をだ！」*** ウマイヤは言った。「サアドよ、この谷の人々の長アブー・アル＝ハカムに声を荒げるな。」サアドは言った。「ウマイヤよ、放っておいてくれ。アッラーにかけて、私はアッラーの使徒 ﷺ が、彼らがお前を殺すと言われるのを聞いたのだ。」ウマイヤは「マッカでか」と尋ねた。サアドは「分からない」と言った。ウマイヤはひどく恐れた。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アフマド・ブン・ウスマーン ← シュライフ・ブン・マスラマ ← イブラーヒーム・ブン・ユースフ ← ユースフ・ブン・イスハーク ← アブー・イスハーク・アッ＝サビーイー ← アムル・ブン・マイムーン ← アブドゥッラー・ブン・マスウード ← サアド・ブン・ムアーズ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ハディース番号 3950。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3950

ハディースの続きでは、ウマイヤはマッカから出ないと誓いました。しかしアブー・ジャフルは彼をバドルへ出陣させ、アッラーはそこで彼を死なせられました。アッラーの使徒 ﷺ が告げられたとおりでした。

教訓

古い友情も、サアドが真理のために毅然と立つことを妨げませんでした。彼は敵の町の真ん中で堂々と声を上げたのです。

バドル – 「あなたとともに海に入りましょう」

ヒジュラ暦 2 年、アッラーの使徒 ﷺ はクライシュ族の隊商を迎えに出られましたが、クライシュ族の軍が戦うために出てきたことが分かりました。預言者は教友たちに相談され、とりわけアンサールの意見を聞きたいと望まれました。

歴史の注：バドルでのサアドの言葉

イブン・イスハークによれば、サアド・ブン・ムアーズはこう言いました。「私たちはあなたを信じ、あなたの真実を認めました……。アッラーの使徒よ、望むところへ進んでください。私たちはあなたとともにいます。***あなたを真理とともに遣わされた御方にかけて、もしあなたが私たちをこの海へ導いて飛び込まれるなら、私たちもあなたとともに飛び込みます。*** 私たちの誰一人として後に残る者はいません。」アッラーの使徒 ﷺ はそれを聞いて喜ばれました。イブン・イスハークはまた、サアドがバドルでアッラーの使徒 ﷺ のためにアリーシュ（日よけの小屋）を建てることを提案したとも述べています。

伝承の評価： スィーラの書でよく知られています。『サヒーフ・ムスリム』1779 では、ほぼ同じ言葉がハズラジュ族の長 ***サアド・ブン・ウバーダ***に帰されています。一部の学者は両者を調和させ、サアド・ブン・ウバーダは出発前にマディーナで、サアド・ブン・ムアーズはバドルでそう言ったと説明しています。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）；『サヒーフ・ムスリム』1779。

サアドはバドルでアウス族の旗を掲げ、一年後のウフドの戦いにも参加しました。そこで兄弟のアムル・ブン・ムアーズが殉教しました。

教訓

真の忠誠には条件がありません。アンサールはマディーナでアッラーの使徒 ﷺ を守ると誓っていましたが、サアドはどこへでもともに行くと宣言したのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | ページ：12 / 39

塹壕の戦い — 信仰を強めた試練

ヒジュラ暦5年、クライシュ族、ガタファーン族とその同盟者（部族連合、アフザーブ）の約一万の兵がマディーナを包囲しました。サルマーン・アル＝ファーリスィーの助言により、ムスリムはマディーナの北側に塹壕（ハンダク）を掘りました。アッラーはその日の恵みを思い起こさせられます。

部族連合章 33:9

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ ٱذۡكُرُواْ نِعۡمَةَ ٱللَّهِ عَلَيۡكُمۡ إِذۡ جَآءَتۡكُمۡ جُنُودٞ فَأَرۡسَلۡنَا عَلَيۡهِمۡ رِيحٗا وَجُنُودٗا لَّمۡ تَرَوۡهَاۚ وَكَانَ ٱللَّهُ بِمَا تَعۡمَلُونَ بَصِيرًا ٩

信仰する者よ，あなたがたに与えられたアッラーの恩恵を念え。大軍があなたがたに攻め寄せて来た時，われはかれらに対し大風と，目に見えぬ軍勢を遣わした。アッラーは，あなたがたの行うことを（明確に）御存知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/33:9

サアドを含む信者たちは、部族連合の軍勢を恐れではなく確信をもって見ました。

部族連合章 33:22

وَلَمَّا رَءَا ٱلۡمُؤۡمِنُونَ ٱلۡأَحۡزَابَ قَالُواْ هَٰذَا مَا وَعَدَنَا ٱللَّهُ وَرَسُولُهُۥ وَصَدَقَ ٱللَّهُ وَرَسُولُهُۥۚ وَمَا زَادَهُمۡ إِلَّآ إِيمَٰنٗا وَتَسۡلِيمٗا ٢٢

信者たちは，部族連合の軍勢を見た時言った。「これはアッラーとかれの使徒が，わたしたちに約束されたものである。アッラーとかれの使徒は，真実を話された。」それは，かれらの信心と服従，帰依の念を，嫌が上にも深めた。

訳：三田了一 — quran.com/33:22

教訓

大きな試練は、信者と疑う者とを分けます。信者にとって困難は、信仰と服従をいっそう増すだけなのです。

矢とサアドの祈り

塹壕の戦いで、サアドは腕の血管に矢を受けました。アーイシャがその出来事と彼の祈りを伝えています。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 4122

حَدَّثَنَا زَكَرِيَّاءُ بْنُ يَحْيَى، حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ نُمَيْرٍ، حَدَّثَنَا هِشَامٌ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ عَائِشَةَ ـ رضى الله عنها ـ قَالَتْ أُصِيبَ سَعْدٌ يَوْمَ الْخَنْدَقِ، رَمَاهُ رَجُلٌ مِنْ قُرَيْشٍ يُقَالُ لَهُ حِبَّانُ ابْنُ الْعَرِقَةِ، رَمَاهُ فِي الأَكْحَلِ، فَضَرَبَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم خَيْمَةً فِي الْمَسْجِدِ لِيَعُودَهُ مِنْ قَرِيبٍ، فَلَمَّا رَجَعَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مِنَ الْخَنْدَقِ وَضَعَ السِّلاَحَ وَاغْتَسَلَ، فَأَتَاهُ جِبْرِيلُ ـ عَلَيْهِ السَّلاَمُ ـ وَهْوَ يَنْفُضُ رَأْسَهُ مِنَ الْغُبَارِ فَقَالَ قَدْ وَضَعْتَ السِّلاَحَ وَاللَّهِ مَا وَضَعْتُهُ، اخْرُجْ إِلَيْهِمْ. قَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم " فَأَيْنَ ". فَأَشَارَ إِلَى بَنِي قُرَيْظَةَ، فَأَتَاهُمْ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَنَزَلُوا عَلَى حُكْمِهِ، فَرَدَّ الْحُكْمَ إِلَى سَعْدٍ، قَالَ فَإِنِّي أَحْكُمُ فِيهِمْ أَنْ تُقْتَلَ الْمُقَاتِلَةُ، وَأَنْ تُسْبَى النِّسَاءُ وَالذُّرِّيَّةُ، وَأَنْ تُقْسَمَ أَمْوَالُهُمْ. قَالَ هِشَامٌ فَأَخْبَرَنِي أَبِي عَنْ عَائِشَةَ أَنَّ سَعْدًا قَالَ اللَّهُمَّ إِنَّكَ تَعْلَمُ أَنَّهُ لَيْسَ أَحَدٌ أَحَبَّ إِلَىَّ أَنْ أُجَاهِدَهُمْ فِيكَ مِنْ قَوْمٍ كَذَّبُوا رَسُولَكَ صلى الله عليه وسلم وَأَخْرَجُوهُ، اللَّهُمَّ فَإِنِّي أَظُنُّ أَنَّكَ قَدْ وَضَعْتَ الْحَرْبَ بَيْنَنَا وَبَيْنَهُمْ، فَإِنْ كَانَ بَقِيَ مِنْ حَرْبِ قُرَيْشٍ شَىْءٌ، فَأَبْقِنِي لَهُ حَتَّى أُجَاهِدَهُمْ فِيكَ، وَإِنْ كُنْتَ وَضَعْتَ الْحَرْبَ فَافْجُرْهَا، وَاجْعَلْ مَوْتَتِي فِيهَا. فَانْفَجَرَتْ مِنْ لَبَّتِهِ، فَلَمْ يَرْعَهُمْ وَفِي الْمَسْجِدِ خَيْمَةٌ مِنْ بَنِي غِفَارٍ إِلاَّ الدَّمُ يَسِيلُ إِلَيْهِمْ فَقَالُوا يَا أَهْلَ الْخَيْمَةِ مَا هَذَا الَّذِي يَأْتِينَا مِنْ قِبَلِكُمْ فَإِذَا سَعْدٌ يَغْذُو جُرْحُهُ دَمًا، فَمَاتَ مِنْهَا رضى الله عنه.

訳：

アーイシャは言った。サアドは塹壕の日に負傷した。クライシュ族のヒッバーン・ブン・アル＝アリカという男が、彼の腕のアクハル（腕の静脈）を射たのである。預言者 ﷺ は近くから見舞えるよう、モスクにテントを張られた。アッラーの使徒 ﷺ は塹壕から戻ると、武器を置いて沐浴された。するとジブリール عَلَيْهِ السَّلَامُ が頭のほこりを払いな

がら来て言った。「あなたは武器を置いたのか。アッラーにかけて、私はまだ置いていない。彼らのもとへ出なさい。」預言者 ﷺ は「どこへ」と言われた。ジブリールはクライザ族の方を指した。アッラーの使徒 ﷺ が彼らのもとへ行かれると、彼らは預言者の裁定に従って降伏し、預言者は裁定をサアドに委ねられた。サアドは言った。「戦闘員は殺され、女と子どもは捕虜とされ、財産は分配されるべきだと裁定します。」ヒシャームは言った。父がアーイシャから伝えたところでは、サアドはこう祈った。***「アッラーよ、あなたはご存じです。あなたの使徒 ﷺ を嘘つき呼ばわりし追い出した民ほど、あなたのために戦いたいと私が望む相手はいないことを。アッラーよ、あなたは私たちと彼らとの戦いを終わらせたのだと思います。もしクライシュとの戦いがまだ残っているなら、あなたのために彼らと戦えるよう私を生かしてください。もし戦いを終わらせたのなら、この傷を開き、それによって私を死なせてください。」*** すると傷が胸元から開いた。モスクにはギファール族のテントがあったが、彼らは自分たちの方へ流れてくる血に驚き、「テントの人々よ、あなたがたの方から来るこれは何か」と言った。見ると、サアドの傷から血が流れ出ていた。彼はその傷がもとで亡くなった。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ザカリーヤー・ブン・ヤフヤー ← アブドゥッラー・ブン・ヌマイル ← ヒシャーム・ブン・ウルワ ← ウルワ・ブン・アッ＝ズバイル ← アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、「部族連合からの預言者の帰還」の章、ハディース番号 4122。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：*sunnah.com/bukhari:4122

イブン・イスハークは、そのテントが負傷者を手当てした女性の教友***ルファイダ・アル＝アスラミーヤ***のものだったと述べています。

教訓

サアドは自分のために癒やしを求めませんでした。ジハードに費やす命か、アッラーの道での死を求めたのです。アッラーの使徒 ﷺ もまた、病んだ教友を自分の近くに置くことで愛情を示されました。

クライザ族についての裁定

クライザ族は、ムスリムとともにマディーナを防衛する盟約で結ばれたマディーナのユダヤ部族でした。マディーナが部族連合に包囲されたとき、彼らは盟約を破って敵側につきました。それはマディーナの住民全体を内側から滅ぼしかねない裏切りでした。部族連合が撤退した後、ムスリム軍はクライザ族を包囲し、彼らはアウス族のかつての同盟者サアド・ブン・ムアーズの裁定を受け入れることに同意しました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 3804

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَرْعَرَةَ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ سَعْدِ بْنِ إِبْرَاهِيمَ، عَنْ أَبِي أُمَامَةَ بْنِ سَهْلِ بْنِ حُنَيْفٍ، عَنْ أَبِي سَعِيدٍ الْخُدْرِيِّ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ أُنَاسًا نَزَلُوا عَلَى حُكْمِ سَعْدِ بْنِ مُعَاذٍ، فَأَرْسَلَ إِلَيْهِ فَجَاءَ عَلَى حِمَارٍ، فَلَمَّا بَلَغَ قَرِيبًا مِنَ الْمَسْجِدِ قَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم " قُومُوا إِلَى خَيْرِكُمْ أَوْ سَيِّدِكُمْ ". فَقَالَ " يَا سَعْدُ، إِنَّ هَؤُلاَءِ نَزَلُوا عَلَى حُكْمِكَ ". قَالَ فَإِنِّي أَحْكُمُ فِيهِمْ أَنْ تُقْتَلَ مُقَاتِلَتُهُمْ وَتُسْبَى ذَرَارِيُّهُمْ. قَالَ " حَكَمْتَ بِحُكْمِ اللَّهِ، أَوْ بِحُكْمِ الْمَلِكِ ".

訳：

アブー・サイード・アル＝フドリーは伝えた。ある民がサアド・ブン・ムアーズの裁定に従って降伏した。預言者が使いを送ると、彼はロバに乗ってやって来た。彼がモスクに近づくと、預言者 ﷺ は言われた。*「あなたがたの最良の者のために — あるいはあなたがたの長のために — 立ちなさい。」* そして「サアドよ、この人々はあなたの裁定に従って降伏した」と言われた。サアドは言った。「彼らの戦闘員は殺され、子どもたちは捕虜とされるべきだと裁定します。」預言者は言われた。*「あなたはアッラーの裁定によって裁いた」* — あるいは「王（アッラー）の裁定によって」と言われた。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・アルアラ ← シュウバ・ブン・アル＝ハッジャージ ← サアド・ブン・イブラーヒーム ← アブー・ウマーマ・ブン・サフル・ブン・フナイフ ← アブー・サイード・アル＝フドリー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』アンサールの美徳の書、「サアド・ブン・ムアーズの美徳」の章、ハディース番号 3804。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3804

学者たちは、これは町が包囲されている最中の戦時の裏切りに対する刑罰であり、女性や子どもではなく戦闘に加わった男たちに適用されたと説明しています。また

一部の学者は、この裁定が彼ら自身の聖典にある戦争の法とも一致していたと述べています。アッラーは部族連合の戦いの結末をこう語られます。

部族連合章 33:25

وَرَدَّ ٱللَّهُ ٱلَّذِينَ كَفَرُوا۟ بِغَيْظِهِمْ لَمْ يَنَالُوا۟ خَيْرًا ۚ وَكَفَى ٱللَّهُ ٱلْمُؤْمِنِينَ ٱلْقِتَالَ ۚ وَكَانَ ٱللَّهُ قَوِيًّا عَزِيزًا ﴿٢٥﴾

アッラーは不信心な者たちを，怒りのうちに（アル・マディーナから）何ら益するところなく撤退なされた。戦いには，アッラーは，信者たちの戦闘を（強風や天使によって）凡てにわたって，守って下さる。アッラーは強大にして偉力ならびなき方であられる。

訳：三田了一 — quran.com/33:25

教訓

サアドはかつての同盟者をひいきせず、病み傷ついた身でありながら公正に裁きました。正義という預かりものを果たすことは、個人的なつながりに優先するのです。

「あなたがたの長のために立ちなさい」

上のハディースにある *「あなたがたの長のために立ちなさい」* という預言者の言葉は、サアドへの敬意を示しています。サアドは傷ついた身で、ロバに乗ってやって来たのでした。

学者たちはその意味について論じています。ある学者は、負傷していたサアドがロバから降りるのを手伝うよう命じたものだとし、別の学者は、徳のある人が来たときに敬意を表して立つことが許されることを示していると述べます。禁じられているのは、自分を崇めさせるために人々が立つのを好むことです。

教訓

イスラームは、自分を誇ることなく、功績や知識のある人を敬うことを教えています。預言者のサアドへの敬意は、彼の家柄ではなく、その献身から生まれたものでした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒ﷺの名誉の守り手

中傷事件（イフク）（信者の母アーイシャへの中傷）についての長いハディースで、アーイシャは、アッラーの使徒 ﷺ が説教壇に立ち、家族を通して自分を傷つけた者に対して誰が弁護してくれるかと問われたことを語っています。すると*サアド・ブン・ムアーズ*が立ち上がって言いました。「アッラーの使徒よ、私があなたを守ります。もしその者がアウス族なら、その首をはねましょう。もし兄弟ハズラジュ族の者なら、命じてください。私たちはその命令を果たします」（『サヒーフ・ブハーリー』4750）。

サアドはクライザ族の後に亡くなっているため、イブン・ハジャルをはじめ一部の学者はこの出来事の時期について論じています。彼らは、ムライスィーウの遠征をヒジュラ暦5年とする見解によれば、この伝承は中傷事件が塹壕の戦いより前に起きたことを示していると説明しています。

教訓

サアドは、たとえ自分の部族に関わることであっても、いつも真っ先に立ち上がってアッラーの使徒 ﷺ とその家族を守りました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

慈悲深き御方の玉座が震えた

サアドはクライザ族への裁定の後まもなく、ヒジュラ暦5年に、およそ三十七歳で亡くなりました。アッラーの使徒 ﷺ は彼の偉大な位を告げられました。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 3803

حَدَّثَنِي مُحَمَّدُ بْنُ الْمُثَنَّى، حَدَّثَنَا فَضْلُ بْنُ مُسَاوِرٍ، خَتَنُ أَبِي عَوَانَةَ حَدَّثَنَا أَبُو عَوَانَةَ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ أَبِي سُفْيَانَ، عَنْ جَابِرٍ ـ رضى الله عنه ـ سَمِعْتُ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " اهْتَزَّ الْعَرْشُ لِمَوْتِ سَعْدِ بْنِ مُعَاذٍ ".

訳：

ジャービルは言った。私は預言者 ﷺ がこう言われるのを聞いた。*「サアド・ブン・ムアーズの死に、玉座が震えた。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・アル＝ムサンナー ← ファドル・ブン・ムサーウィル ← アブー・アワーナ ← スライマーン・アル＝アアマシュ ← アブー・スフヤーン・タルハ・ブン・ナーフィウ ← ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』アンサールの美徳の書、「サアド・ブン・ムアーズの美徳」の章、ハディース番号 3803。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3803

同じ伝承の続きでは、ある男がジャービルに、アル＝バラーは「震えたのは棺台（サリール）だ」と言っていると伝えました。ジャービルはきっぱりと言いました。「私は預言者 ﷺ がこう言われるのを聞いた。***サアド・ブン・ムアーズの死に、慈悲深き御方の玉座が震えた。***」スンナの学者たちは、この言葉をその字義どおりに、サアドの魂の到来を喜ぶしるしとして受け入れます。玉座を被造物になぞらえることなく、その在り方を問うこともなく。

教訓

アッラーのもとでの人の位は、命の長さでは測られません。イスラームに入ってわずか六年で、サアドは玉座を震わせるほどの誉れに達したのです。

天使が担いだ棺

サアドの棺が運ばれるとき、偽信者たちはあざけりましたが、アッラーの使徒 ﷺ は彼らにこう答えられました。

ハディース — ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー、No. 3849

حَدَّثَنَا عَبْدُ بْنُ حُمَيْد، قَالَ أَخْبَرَنَا عَبْدُ الرَّزَّاقِ، قَالَ أَخْبَرَنَا مَعْمَرٌ، عَنْ قَتَادَةَ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِك، قَالَ لَمَّا حُمِلَتْ جَنَازَةُ سَعْدِ بْنِ مُعَاذٍ قَالَ الْمُنَافِقُونَ مَا أَخَفَّ جَنَازَتَهُ . وَذَلِكَ لِحُكْمِهِ فِي بَنِي قُرَيْظَةَ فَبَلَغَ ذَلِكَ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم فَقَالَ " إِنَّ الْمَلاَئِكَةَ كَانَتْ تَحْمِلُهُ " .

訳：

アナス・ブン・マーリクは言った。サアド・ブン・ムアーズの棺が運ばれたとき、偽信者たちは — クライザ族についての彼の裁定のために — 「なんと軽い棺だろう」と言った。それが預言者 ﷺ に届くと、彼は言われた。 *「天使たちが彼を担いでいたのだ。」*

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アブド・ブン・フマイド ← アブドゥッラッザーク・アッ＝サンアーニー ← マアマル・ブン・ラーシド ← カターダ ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』美徳の書、「サアド・ブン・ムアーズの美徳」の章、ハディース番号 3849。

等級： サヒーフ（真正）— ダールッサラーム版でサヒーフ。ティルミズィーは「ハサン・サヒーフ・ガリーブ」と述べる。

典拠： sunnah.com/tirmidhi:3849

ハディースの注：七万の天使

イブン・ウマルは、アッラーの使徒 ﷺ がサアドについてこう言われたと伝えています。 *「この者のために玉座が動き、天の門が開かれ、七万の天使がその葬儀に立ち会った。彼は（墓の中で）一度締めつけられ、その後それから解放された。」*

伝承の評価： アルバーニーが『サヒーフ・スナン・アン＝ナサーイー』で*サヒーフ*と判定。『スナン・アン＝ナサーイー』2055

参照：

『スナン・アン＝ナサーイー』葬儀の書、ハディース番号 2055。

教訓

人々のあざけりは、アッラーが尊ばれた人の誉れを少しも損ないません。それでも墓の締めつけのハディースは、誰もバルザフ（墓の世界）の困難を免れないことを思い起こさせます。だからこそ、私たちは常にアッラーの慈悲を願うのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

楽園でのサアドのハンカチ

サアドの死後、アッラーの使徒 ﷺ は楽園で彼を待つ恵みについて語られました。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 3802

حَدَّثَنِي مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، حَدَّثَنَا غُنْدَرٌ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، قَالَ سَمِعْتُ الْبَرَاءَ ـ رضى الله عنه ـ يَقُولُ أُهْدِيَتْ لِلنَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم حُلَّةُ حَرِيرٍ، فَجَعَلَ أَصْحَابُهُ يَمَسُّونَهَا وَيَعْجَبُونَ مِنْ لِينِهَا فَقَالَ " أَتَعْجَبُونَ مِنْ لِينِ هَذِهِ لَمَنَادِيلُ سَعْدِ بْنِ مُعَاذٍ خَيْرٌ مِنْهَا ". أَوْ أَلْيَنُ.

訳：

アル＝バラーは言った。預言者 ﷺ に絹の衣が贈られると、教友たちはそれに触れ、その柔らかさに驚き始めた。すると彼は言われた。*「これの柔らかさに驚くのか。サアド・ブン・ムアーズの（楽園での）ハンカチは、これよりも優れている」* — あるいは「これよりも柔らかい」と言われた。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・バッシャール ← グンダル ← シュウバ・ブン・アル＝ハッジャージ ← アブー・イスハーク・アッ＝サビーイー ← アル＝バラー・ブン・アーズィブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』アンサールの美徳の書、「サアド・ブン・ムアーズの美徳」の章、ハディース番号 3802。

等級： サヒーフ（真正）—『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3802

ハンカチは人の持ち物の中で最もささやかなものです。楽園でのサアドのハンカチがこの世の絹よりも優れているのなら、ほかの恵みはいかばかりでしょうか。

教訓

この世で最も美しい楽しみも、楽園の最も小さなものには及びません。このことは、私たちがこの世に心を奪われないよう励ましてくれます。

サアド・ブン・ムアーズの人柄

サアドの物語は、短い間に信仰と勇気と公正さを兼ね備えた指導者の姿を描いています。

資質	生涯からの例
真理に開かれた心	クルアーンを聞いてイスラームに入った
部族を導いた指導者	アブドゥルアシュハル家が一日でイスラームに入った
勇気	マッカでアブー・ジャフルの前で毅然と（『サヒーフ・ブハーリー』3950）
忠誠	「あなたとともに海に入りましょう」
ジハードへの愛	負傷したときの祈り（『サヒーフ・ブハーリー』4122）
公正	クライザ族についての裁定（『サヒーフ・ブハーリー』3804）
使徒 ﷺ の守り手	中傷事件において（『サヒーフ・ブハーリー』4750）

教訓

サアドは、命の価値はその長さではなく質にあることを証明しました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドの物語の典拠

この表は、それぞれの話の典拠と評価をまとめたものです。読者が真正なものと、単によく知られているだけのものとを見分けられるようにしています。

話	典拠	評価
ムスアブを通してのイスラーム	イブン・イスハーク	よく知られる（スィーラ）
アブドゥルアシュハル家の入信	イブン・イスハーク	よく知られる（スィーラ）
アブー・ジャフルの前で毅然と	サヒーフ・ブハーリー3950	サヒーフ
バドルでの言葉	イブン・イスハーク；サヒーフ・ムスリム 1779	よく知られる；異説あり
矢と祈り	サヒーフ・ブハーリー4122	サヒーフ
クライザ族についての裁定	サヒーフ・ブハーリー3804	サヒーフ
「あなたがたの長のために立ちなさい」	サヒーフ・ブハーリー3804	サヒーフ
中傷事件での弁護	サヒーフ・ブハーリー4750	サヒーフ
玉座が震えた	サヒーフ・ブハーリー3803	サヒーフ
天使が担いだ	ティルミズィー3849	サヒーフ
七万の天使	ナサーイー2055	サヒーフ
楽園のハンカチ	サヒーフ・ブハーリー3802	サヒーフ

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドの物語に登場する人物

人物	役割
ムスアブ・ブン・ウマイル	彼をイスラームに導いた呼びかけ人（第 6 巻）
アスアド・ブン・ズラーラ	いとこ。マディーナでのムスアブの宿主
ウマイヤ・ブン・ハラフ	クライシュ族の旧友。バドルで討たれた
アブー・ジャフル	マッカで彼を脅したクライシュ族の指導者
アムル・ブン・ムアーズ	兄弟。ウフドで殉教
ヒッバーン・ブン・アル＝アリカ	塹壕の戦いで彼を射たクライシュ族の男
ルファイダ・アル＝アスラミーヤ	テントで負傷者を手当てした女性の教友
アーイシャ	傷と祈りの話の伝承者
ジャービル・ブン・アブドゥッラー	玉座が震えたハディースの伝承者

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドの物語に登場する場所

場所	出来事
マディーナ（ヤスリブ）	生まれた地。ムスアブを通してイスラームに入った
アブドゥルアシュハル家の地区	部族全体がイスラームに入った
マッカ	ウムラの際にアブー・ジャフルと出会った
バドル	忠誠の言葉とアウス族の旗（ヒジュラ暦 2 年）
ウフド	兄弟アムルが殉教（ヒジュラ暦 3 年）
塹壕（マディーナ）	矢を受けた（ヒジュラ暦 5 年）
預言者のモスク	手当てを受け、亡くなったテント
クライザ族の地	彼の裁定（ヒジュラ暦 5 年）
バキーウ	埋葬された地

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドの生涯の年表

年	出来事
ヒジュラ前 32 年頃	マディーナで生まれる
ヒジュラ前 1 年頃	ムスアブ・ブン・ウマイルを通してイスラームに入る
ヒジュラ暦 1 年	アッラーの使徒 ﷺ がマディーナへ移住。ウムラとアブー・ジャフルとの遭遇
ヒジュラ暦 2 年	バドルの戦い
ヒジュラ暦 3 年	ウフドの戦い
ヒジュラ暦 5 年	塹壕の戦い。矢を受ける
ヒジュラ暦 5 年	クライザ族についての裁定。およそ 37 歳で死去

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドについてのよくある質問

この章では、サアド・ブン・ムアーズ رضى الله عنه についてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔にしてあり、詳しくはこれまでの章にあります。

1. サアド・ブン・ムアーズの正式な名は？

サアド・ブン・ムアーズ・ブン・アン＝ヌウマーン・アル＝アンサーリー・アル＝アシュハリー。クンヤはアブー・アムルです。

2. サアドは誰を通してイスラームに入りましたか？

ヒジュラ前、マディーナでのムスアブ・ブン・ウマイルの呼びかけを通してです。

3. 彼がイスラームに入った後、部族はどうなりましたか？

アブドゥルアシュハル家の全員が同じ日にイスラームに入りました（イブン・イスハークの伝承）。

4. サアドはアブー・ジャフルに何と言いましたか？

もし聖殿を回るのを妨げるなら、マディーナを通るクライシュ族の交易路をふさぐと言いました（『サヒーフ・ブハーリー』3950）。

5. 「あなたとともに海に入りましょう」と言ったのは誰ですか？

イブン・イスハークはバドルでのサアド・ブン・ムアーズの言葉とし、『サヒーフ・ムスリム』1779 はほぼ同じ言葉をサアド・ブン・ウバーダに帰しています。

6. サアドはどのように負傷しましたか？

塹壕の戦いで、腕の血管に矢を受けました（『サヒーフ・ブハーリー』4122）。

7. 負傷したサアドの祈りは？

クライシュとの戦いが残っていればジハードのために生かし、終わっていればその傷で死なせてほしいという祈りです。

8. クライザ族についてのサアドの裁定は？

戦闘員は殺され、子どもは捕虜とされるというもので、預言者 ﷺ はそれをアッラーの裁定だと言われました（『サヒーフ・ブハーリー』3804）。

9. 「あなたがたの長のために立ちなさい」の意味は？

サアドへの敬意です。負傷していた彼が降りるのを手伝うためでもあったとする学者もいます。

10. サアドが亡くなったとき何が起きましたか？

慈悲深き御方の玉座が震え（『サヒーフ・ブハーリー』3803）、七万の天使が葬儀に立ち会いました（ナサーイー2055）。

11. サアドは何歳で亡くなりましたか？

ヒジュラ暦 5 年、およそ三十七歳でした。

12. サアドの物語から得られる最大の教訓は？

命の価値は、その長さではなく誠実さと献身にあるということです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

サアド・ブン・ムアーズ رضى الله عنه の物語は、呼びかけ人を追い払おうと槍を手にやって来た長から始まり、その死に慈悲深き御方の玉座が震えた殉教者で終わります。

教訓	サアドの物語から
拒む前に聞く	クルアーンを聞いてイスラームに入った
指導者は民を導く	アブドゥルアシュハル家の入信
無条件の忠誠	「あなたとともに海に入りましょう」
試練は信仰を増す	部族連合章 33:22
同盟者にも公正に	クライザ族についての裁定
命の価値はその質にある	イスラームの六年の後に玉座が震えた

私たちがサアドに倣うことができますように。真理に心を開き、アッラーとその使徒に忠実であり、裁きにおいて公正で、人生の一日一日をアッラーのもとで価値あるものとすることができますように。

イン・シャー・アッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、また別のイスラームの英雄の物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと注釈

聖クルアーン、ウスマーン版正書法と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（部族連合章 33:9、33:22、33:25）。

ハディース

サヒーフ・ブハーリー 3802、3803、3804、3950、4122、4750。sunnah.com/bukhari

サヒーフ・ムスリム 1779。sunnah.com/muslim

ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー 3849。sunnah.com/tirmidhi

スナン・アン＝ナサーイー 2055。sunnah.com/nasai

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー』。

スィーラ・歴史・伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）。

イブン・サアド『大列伝』（サアド・ブン・ムアーズの伝記）。

ザハビー『高貴な人々の伝記』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『アル＝イサーバ』。

Wikipedia「Sa‘d ibn Mu‘adh」。en.wikipedia.org/wiki/Sa%27d_ibn_Mu%27adh

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 13 巻：カアカーア・ブン・アムルまで。特に第 6 巻：ムスアブ・ブン・ウマイルと第 12 巻：ムアーズ・ブン・ジャバル。quranscience.my/#pahlawan

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيد - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience